

# ウオッチング多摩ニュース

第79号

2017年1月6日

ウオッチング多摩の会

今号の特集

## パルテノン多摩改修

・意見書の提出  
・アンケート結果

3ページ

### 今こそ、市議会の

### 政策提案の実現を!

〜パルテノン多摩大規模改修〜

チャンス、チャンス、チャンス!

市議会が動き出した!

私たちウオッチング多摩の会は、12月26日パルテノン多摩大規模改修について市民意見を市長・市議会に届けました。これは多摩サロン・多摩未来研究会と3団体連名です。提出に至った背景や目的・意見提案などは3ページをご覧ください。多摩市議会も12月定例議会において活発な質疑が7人の議員から行われました。

三階道雄議員(公明)

パルテノン多摩の大改修について

飯島文彦議員(自民)

パルテノン多摩大改修の役割とは?

伊地智恭子議員(ネット・社民)

多摩市のリフォーム思想をつくる

その2

岩永ひさか議員(改革みらい)

市長がめざし、つくりたい公共施設について

藤條たかゆき議員(改革みらい)

パルテノン多摩は若者を呼び寄せられる装置になり得るか

大野まさき議員(改革みらい)

「公共施設の見直し方針と行動プログラム」更新における課題と市民参加の在り方等について

遠藤ちひろ議員(改革未来)

日本の図書館は変わった。ホール・劇場はどうだ?(パルテノン多摩のことです)

以上7議員における質疑応答が活発に行われました。質疑は総じて市の基本案である2019年までの概算80億円予算計画を巡

以上7議員における質疑応答が活発に行われました。質疑は総じて市の基本案である2019年までの概算80億円予算計画を巡



検索してください。パルテノン多摩アンケートサイトの「市議会の意見(各市議)」からも開けます。

市議会議員の勇姿と活発な質疑応答が楽しめます。眠れる獅子が目覚めたようで、市議会の勢いを実感できます。



多摩市議会 YouTube

<https://www.youtube.com/user/tamashigikai>

**三度目の正直！  
パルテノン特別委員会ができた！**

さらに12月21日の本会議において、パルテノン多摩改修問題特別委員会の設置が全会派一致で議決されました。これまで2回提案されましたが、日の目を見なかった特別委員会がつい実現し、パルテノン多摩について活発な議論をすることになりました。まさに三度目の正直でしょう。

この特別委員会は4会派から各2名、ネット・社民から1名の9名で構成され、委員長は藤原マサノリ議員となりました。

平成28年3月議会において議決した以下の付帯決議を具現化する議会提案案となるものと思われまます。

**付帯決議の要点**

- 1 財政計画に留意し改修予算の上限を強く意識し、総事業費について可能な限り削減の努力をすること。
- 2 平成28年の予算は基本計画・設計の費用であり拙速に事業を進めず、多摩センター地域全体の活性化につなげ、市民への説明責任を果たすこと。
- 3 基本計画にあたっては、広く市民及び議会との情報共有及び意見の反映に努めること。

となつていますが、事業費の削減、市民への説明責任、市民意見の反映をどこまで具現化できるか期待を込めて見守りたいと思います。これまでに見えた市の姿勢は予算削減もした(5億円程度)、基本計画策定委員会、市民への説明会、シンポジウム、パネルディスカッションなど説明責任を果たした、市民意見の反映にも努めたとしています。

しかし市が市民への説明など丁寧に行ってきたことは認められますが、どこまで市民に届いたかは疑問でしょう。

それは私たち市民が行ったアンケート結果にも如実に表れており、この原因はひとえにこれからのまちの重要な拠点の一つである未来のパルテノン多摩の在り方を、市長・行政主導で選択肢を一つしか提案しなかったという構想力不足にあるのではないのでしょうか。パルテノン多摩、図書館、市庁舎、そして多摩センターというキーワードこそが、幾重にも絡んだ難問を解くカギと思われまます。

今からでも遅くはありません。いま一度原点に戻り、3月議会において市民の思いをしつかり反映した議会政策提案の議決を市民は期待しています。

ウオッチング多摩の会 神津幸夫

**ガンバッテ！ パルテノン多摩改修問題  
特別委員会 日程**

日 時	開始時刻
2017年 1月10日(火)	13時
1月25日(水)	15時
2月6日(月)	16時
2月20日(月)	10時
2月23日(木)	10時

市議会の熱い討議を目にする絶好のチャンスです。ぜひ足を運んで、議員が持つ多摩市にかける思いに声援を送りましょう。



議員の活発な討議が明日の市政を作る。

## パルテノン多摩大規模改修計画に ついての意見

平成28年12月26日

多摩市長殿

多摩市議会議長

パルテノン多摩改修特別委員会委員長、

各位殿

多摩サロン

理事長 西田昌弘

多摩みらい研究会

代表 藤井国男

ウオッチング多摩の会

代表 神津幸夫

私たちは、市議会傍聴を中心に市政ウオッチング市民活動を行っています。市が現在取り組んでいる「公共施設の見直し方針と行動プログラム」の様々なイベントに参加してきたのもその一環です。その中で私たちが特に関心を抱き、同時に大いに疑問を持ったのは巨額の費用を掛けてパルテノン多摩を改修しようという市の計画についてです。

この計画は市議会で、その初期費用が予算化されたことで急浮上してきたと私たちは理解しています。私たちの納めた、あるいは納めるべき税金が事前に何の前触れも相談もなくそんな風に勝手に使われてしまっているのか。それが私たちの最初の基本的な疑問でした。

### 市が決めてしまうのか パルテノンの将来像

私たちは「ニュース」でこの問題の特集し、市民に呼び掛けて討論集会を開いてきました。11月には二〇〇〇人の市民に対してアンケートを行い市民の声を聞いてみました。インターネットを通じてのアンケートは今継続中です。結果は添付した資料の通りです（市の80億円改修案の支持者は6%に過ぎません）。

私たちはさらに、9月市議会に「パルテノン多摩の改修工事の着工時期に関する」陳情と「多摩市公共施設及びインフラ施設の建設・改修工事の改善・向上に資する」期中監査制度「事前監査」導入を求める」政策提案を出しました。陳情は趣旨採択、政策提案は不採択になっています。

私たちはこの政策提案の不採択には大局的観点から疑問を持っています。行政・議会とも常日頃、多摩市の豊富な人材活用を唱えながら制度的に実質化されておらず改革も行われていないからです。これは、行政の安易なご都合



主義による拙速さ、議会としては常に追認の域を出ない今のあり方に起因していると考えます。

この巨額改修問題については、市民の間に関心が広がりあちこちで疑問の声々が上がっているにもかかわらず、市は都市計画税を当て込んだの大改修という既定の方針を変えようとせず、7月から基本計画策定委員会を既に8回積み重ね、現状施設の継続を前提にした行政先行の計画を着々と進めています。しかもそれは他に選択肢がまったくないまま進行すれば、市の考えたたった1つの案によってパルテノン多摩の将来像が決められてしまいます。市がその案だけで多様な価値で生きる市民を説得し納得させようというのは、行政のゴリ押しだと批判されても仕方がないと私たちは感じています。

### 立ち止まって考えよう

この際、ちよつと立ち止まって考えてみようではありませんか。ニュータウンは今や第2世代の時代を迎えようとしています。ニュータウン再生の論議も盛んです。時代は変わろうとしています。このような時にまず「場所、館、金」ありき、といったきわめて近視眼的な、ハード先行、行政主導型の計画のゴリ押しはいったん中止してみてはいかがで

すか。そして、これからのパルテノン多摩に市民が何を求めどのような場にしていくのか、市民とじっくり話し合うべきではありませんか。

基本計画作成依頼先の事例紹介にこんな例がありました。長野県茅野市の場合です。茅野市は市民会館新設に際して市民との話し合いに2年、計画作成に2年、プラスαの年月を費やしています。それが今では隣接公園の運営などが高校生主体で行われているという素晴らしい展開をしているというのです。市民会館新設に当たって辛抱強くこれだけの年月をかけた結果で、それがこの会館を文字通り「市民による市民の施設」にしていると思います。これこそまさに市民参画のあり方ではありませんか。

市が共催して先頃「公共施設のあり方」をテーマに開かれたシンポジウムでは「これからの公共施設は市民のためではなく、市民と共に一緒に」との熱いメッセージが語られました。この会に出席していた阿部市長は、その後の市民説明会などでこの主張をオーム返し力説しています。

阿部市長、その通りです。だったらこの問題も「市民と共に一緒に」考えましょう。パルテノン多摩は新設ではなく現存の施設です。コンサル依頼先の実績事例からも学ぶべ

きものがあり、市民との共有感を得ようとしたこれまでの努力を無にせず、老朽化の危険防止を急ぐ数年間の閉館の損失対応という目先の問題にこだわって百年の計を誤ることとはありません。今こそいったん立ち止まって再考してみることが必要だと私たちは考えます。

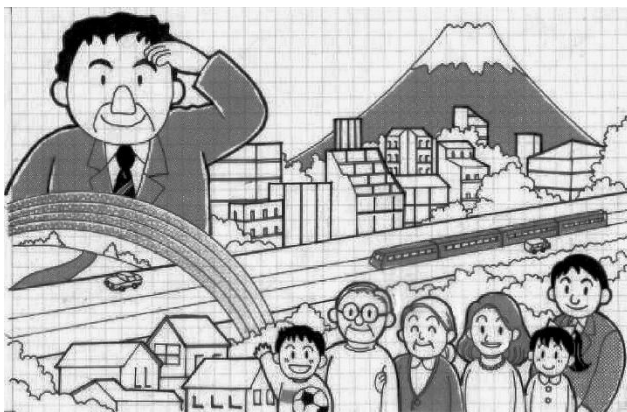
### 構想力が問われている

今回のアンケート結果には市民が様々な選択を望んでおり、多様な意思が表れています。特に「案Dの運営の完全民営化コース」の回答が最も多く45%を占めていたことの重さを市及び市議諸兄姉は再認識すべきだと私たちは考えます。民間資金を活用するPFIの手法はこの計画には沿うものではないというのが市の判断のようですが、これからの公共施設の在り方として運営を民間に任せるコンセッション方式を望む市民の意見は無視できないはずです。

私たちはパルテノン多摩一館ではなくこれから計画される中央図書館、新市庁舎を統合して構想することこそが多摩センター地区の活性化のためには最重要であると考えています。巨額の改修費用の問題と同時に、このように変化する時代の中で問題をきち

んと捉え、その中にパルテノン多摩の改修問題を位置づける構想力がこの際問われているではありませんか。

パルテノン多摩の改修、中央図書館の新設計画が数年先送りされても新市庁舎建設計画が今後10年以内には具現化してきます。パルテノン多摩に一時的に発生する修繕費、この計画のために既に費やした経費などはこの3大施設の将来構想案に資することになるでしょう。いったん立ち止まって考え、話し合い、プロセスを大事にして再スタートすることを提案します。ご検討下さい。



# アンケートに込めた思い 市民の声を集めて

## 市や議会に届けたい!

花谷 修一

80億をかけてパルテノン多摩の大改修を行うと聞いたとき、少なからず市民はその額の大きさに驚いたのではないのでしょうか。

市はこの計画を推進するべく改修方針を作り、基本計画策定委員会を立ち上げ、専門家や利用者の意見を反映したとして市民に向けて何度かの説明会やアンケート調査を実施してきました。この中で、施設の老朽化の現状や都市計画税を使った資金の返済方法について説明をしています。膨大な費用を掛けて大改修を行うことを前提にどのように実行するかという技術論に終始しているように思えます。

私どもは、市民感覚に照らしてここに何等かの議論が抜け落ちていないように思えてなりません。すなわち

- ・今だけの人が利用していて、大多数の市民にとって本当に役に立っている施設なのだろうか?

・図書館本館も建てる。市庁舎も新築する。その上にパルテノン多摩の大改修にこ

れだけ膨大なお金をつぎ込む。市政の課題として本当に80億を投入するに値する優先事項なのだろうか?

・建築費を上回る程の額なのだから、これからの多摩市にとって必須のものだとしたら、それはどのようなビジョンに基づくものなのだろうか?

等々である。

そこで私もウオッチングの会が市民に直接意見を聞いてみようと思い立ち、今回のアンケート調査とWEBサイトの立ち上げを試みました。

### 意見を集約するため四択に絞り込む

アンケート調査は、意見を集約するため4つの選択肢を用意し、この中から最も適当と思われる案を選択してもらおうというものです。表1の案A(80億円コース・維持発展案 市の案)、案B(40億円コース・整理縮小案)、案C(16億円コース・撤去案)、案D(運営の完全民営化コース)

ハガキによるアンケートは11月の初めから実施し11月30日に切りました。また同時にWEBで同じアンケートを実施し、合わせて600件を上回る回答を得ることができました。

ハガキを印刷したチラシの配布は、一部は口コミもありますが、聖蹟桜ヶ丘、永山、多

摩センター、唐木田の駅頭に立ち、通行人にアンケート回答の協力を求めたものです。

### アンケート調査・結果

●アンケートチラシ配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4 駅頭配布 (聖蹟桜ヶ丘駅、永山駅、多摩センター駅、唐木田駅)</li> <li>・ポスティング (趣旨賛同者による任意配布)</li> </ul>
●アンケートWebサイト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="http://xviews.jp/parthenon/">http://xviews.jp/parthenon/</a></li> <li>・ サイト案内 チラシ記載、メールでの拡散</li> </ul>
●アンケート期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハガキ 11月5日～30日</li> <li>・ Web 11月5日～2017年3月31日 (現在継続中)</li> </ul>
●アンケート回収	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハガキ 542/2,000 回収率 27.1%</li> <li>・ Web 61 (2016年12月20日現在)</li> </ul>
●アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラフ参照 (次ページ)</li> <li>・ 民営化D案 45%に対して、市案A案 6%</li> <li>・ 現状の市案は 94%受け入れられていない</li> </ul>

## アンケート 4つの選択肢

<b>案 A 80億円コース</b> 維持発展案	<p>80億円が本当に必要なのかどうかは、第3者の意見も踏まえて十分に精査するにしても老朽化したものは放置できない。</p> <p>パルテノン多摩は背後にある中央公園の景観とも相まって多摩市が誇るべき住環境の一つの要素を担っている。この環境を維持継続していくことで多摩市の発展があり、少子化が叫ばれる中、若い人も呼び込めるはずである。</p> <p>したがって、原状回復を早急に行い、今後とも文化の殿堂としてのランドマーク的役割を果たしていく。(市の案)</p>
<b>案 B 40億円コース</b> 縮小整理案	<p>市の案の半額以下に抑える。</p> <p>このためには、本当に14万多摩市民のためになっているのか原点に立ち返って考える必要がある。何のための施設かを今、改めて問い直し目的を明確にした上で、その目的にそぐわない設備は切り落とす。また市庁舎も近々に建て替えが必要であり、この市庁舎、ヴィータ、ベルブとも総合的に考えて公共設備の機能を棲み分ける。高度な設備ではなく、身の丈に合った、市民が利用しやすい施設に変える。</p>
<b>案 C 16億円コース</b> 撤去案	<p>この際、階段だけを残してとり潰す。</p> <p>とり潰すだけでも16億円必要であるが、団塊世代が多く住む多摩市は日本一高齢化が進むといわれており、10年、20年後、そして30年後のことを考えたとき、運営経費を毎年5億円近くかけて、このまま維持し続けていくことは得策ではない。</p> <p>多摩市は大都市東京の郊外都市として、電車で30分も乗れば都心に出られる。コンサートや観劇のためなら必要はない。近隣にも同様の施設はたくさんある。また多摩市には各地区毎に立派なコミセンがある。更には民間の施設もある。無くても何ら不都合はない。</p>
<b>案 D 運営の完全民営化コース</b>	<p>今の指定管理者制度ではなく、所有権は多摩市に残すが、その運営は完全に民営化する。(コンセッション方式)。</p> <p>民間事業とすることで、現在毎年5億円程の運営経費を節約し、将来的に収益を上げる施設を目指す。</p> <p>市はそのような事業者を探し出し、その事業者との話し合いを踏まえて今回の改修計画を作り直す。</p>

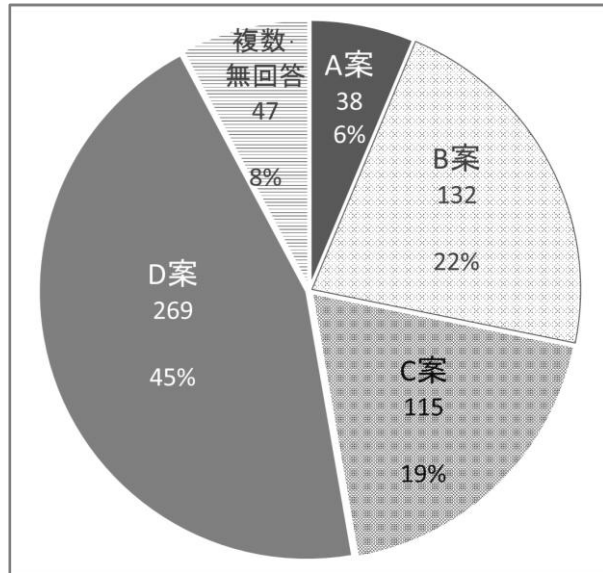
表1-アンケート選択肢

はがきでのアンケート投票は11月30日締め切りでしたが、インターネットでの投票は2017年3月31日まで継続しています。下記のホームページを開いて投票してみましょう。ホームページは、「パルテノン アンケート」で検索しても表示できます。  
**パルテノン多摩大改修アンケート:** <http://xviews.jp/parthenon/>



意外なアンケート結果

さて、そのアンケートの結果を図1に示します。D案の完全民営化コースが5割近くに達し最も多く、市の進めるA案80億円コースの維持発展案はわずか6%強でしかあり



ませんでした。

図2は利用頻度別に集計したものです。驚くべきことにパルテノン多摩をよく使う人もC案の撤去案を選んだ人が相当数いることです。一方で使ったことがない人でも結果の維持発展案を選ぶ人もいますが、この人な人はパルテノン多摩の存在そのもの

図1-アンケート結果

価値があると考えている方々なのかもしれません。

D案にもっとも票が多かった理由を考察するに、寄せられた意見(9ページ)からも伺えるように、たとえよく使う人でも現在の使われ方や運営方法に満足していない方が多いということの現れのように思われます。

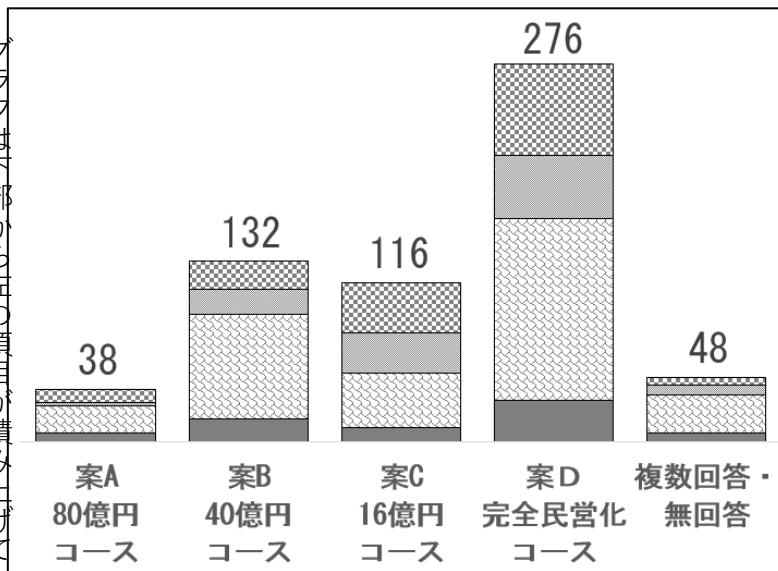


図2-利用頻度別集計

- グラフは下部から左の項目が積み上げている。
- よく利用する。(年に5、6回以上)
- 年に1、2回は利用する。
- 減多に利用しない。
- 利用したことがない。

図3は利用頻度だけで集計した結果です。大小ホール、会議室、展示室、作業室いずれかでも年に5、6回以上は使うという方は全体の10%強のみです。年1、2回利用する方は約半分ですが、まったく足を運んだことがない、減多に利用しないという人が40%もいるのです。このような利用状況はまったく寂しいという他ありません。

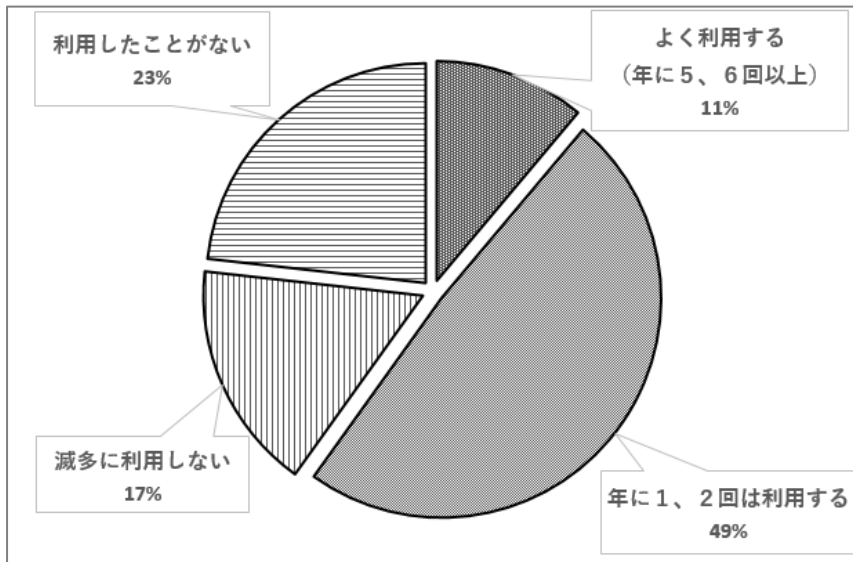


図3-利用頻度

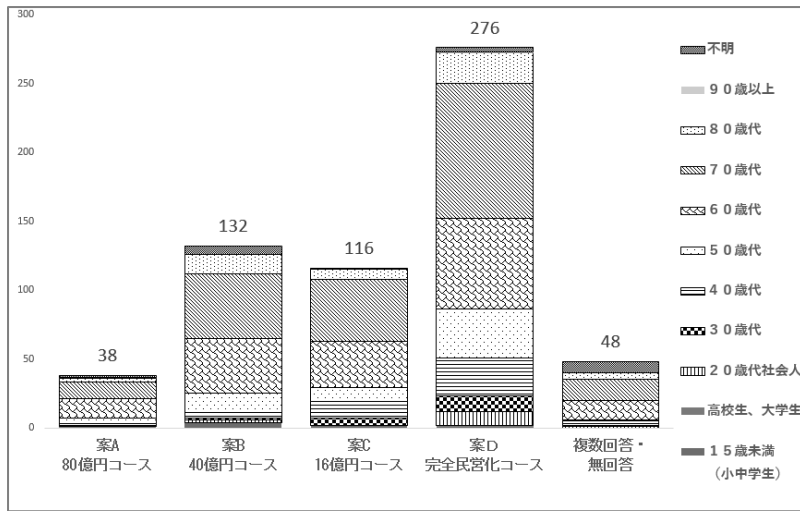


図4 一年齢層別集計

図4はアンケートに回答いただいた年齢層別の集計を示しています。これを見ると高年齢層に偏っていると言わざるを得ない結果となっていました。駅頭でチラシを配布する際にも気づいたことですが、残念ながら若い方々、学生、サラリーマンの方々はほとんど無関心でした。彼らはパルテノン多摩の存在に関心がないものと思われ、本アンケートで得られた結果の傾向は彼らの意見を加味すれば更に顕著になるのではないかと

と考えられます。複数回答や無回答の方も少なからずいます。これらの方々は私どもが用意した選択肢のいずれにも該当しなかったのだと思われるます。このようなケースを含めてアンケート回答と同時に意見、コメントを寄せて頂きました。その代表的な意見、コメントを9ページ以降に掲載します。その中には検討に値するものが多数見受けられ、今後の進め方の参考になるのではないかと考えられます。

また、一方で私どもはWEBサイト (<http://xviews.jp/parthenon/>) を開設しました。グーグルなどで「パルテノン多摩アンケート」をキーワードに検索できます。このサイトの趣旨は上記のアンケートのWEBによる実施だけでなく、本アンケートの結果はもちろんのこと、市民ジャーナリズムとして偏りなく情報を一元的に提供し、できるだけ多くの市民に「熟議の場」を提供しようというものです。

特に私どもの代表である議員や議会の動向はパルテノン多摩大改修の行方に大きく影響を与えます。そこで本サイトでは、意見掲載に応じていただいた議員の方々にこの問題に対する考え方、取り組みの姿勢を報告していただいてこれを掲載しました。

また12月議会ではパルテノン多摩大改修問題は大きなテーマとなり7名の議員から一般質問がありました。この様子はYouTube (YouTube) で公開されていますが、本サイトからこれにリンクして見られるようにしました。これを見ると何時になく白熱した議論が展開されています。

私も市民はこのサイトを通して彼らの意見に「いいね！」評価をして声援を送ることができ、メッセージを送ることも可能です。また、あなた自身の意見を投稿することもできます。

9ページ以降はハガキに寄せられたコメント及びWEBアンケートの回答に対するコメントのみの掲載ですが、これらの意見に対する更なるコメントや新しい意見すなわち「熟議の様子」は本サイトでご覧ください。本サイトは、このパルテノン多摩大改修の方向性が見えてくるであろう3月までオープンしています。議員の方はもちろん、市民の方々もぜひ活用していただき、本問題の熟議に参加していただきますようお願いいたします。その中から新しい知恵が生まれ、パルテノン多摩のあるべき方向性の示唆が生まれればと願うものです。

また12月議会ではパルテノン多摩大改修問題は大きなテーマとなり7名の議員から一般質問がありました。この様子はYouTube (YouTube) で公開されていますが、本サイトからこれにリンクして見られるようにしました。これを見ると何時になく白熱した議論が展開されています。

私も市民はこのサイトを通して彼らの意見に「いいね！」評価をして声援を送ることができ、メッセージを送ることも可能です。また、あなた自身の意見を投稿することもできます。

9ページ以降はハガキに寄せられたコメント及びWEBアンケートの回答に対するコメントのみの掲載ですが、これらの意見に対する更なるコメントや新しい意見すなわち「熟議の様子」は本サイトでご覧ください。本サイトは、このパルテノン多摩大改修の方向性が見えてくるであろう3月までオープンしています。議員の方はもちろん、市民の方々もぜひ活用していただき、本問題の熟議に参加していただきますようお願いいたします。その中から新しい知恵が生まれ、パルテノン多摩のあるべき方向性の示唆が生まれればと願うものです。

また12月議会ではパルテノン多摩大改修問題は大きなテーマとなり7名の議員から一般質問がありました。この様子はYouTube (YouTube) で公開されていますが、本サイトからこれにリンクして見られるようにしました。これを見ると何時になく白熱した議論が展開されています。





## アンケートのコメント

アンケートには貴重なコメントが二百弱寄せられました。ここでは、その中からいくつかを紹介します。コメントすべては、インターネットの「パルテノン多摩大改修アンケート」(<http://xviews.jp/parthenon/>)の「市民の意見」でご覧いただけます。また、自由にコメントを加えることも可能です。

### 案Aのコメント

・パルテノン多摩は、他の街に類を見ない素晴らしい施設です。この中に大小の素敵なコンサートホールがあることも市民の誇れるところですね。新しくすることで街の活性化が起こり、若い世代の方も夢を持って多摩市に移住されることをイメージして一票入れさせていただきました。ただオリンピックの予算と同じように、本当に内容が80億という金額に相当するのはとても疑問です。内容と金額を何度も洗い直して、納得のいく予算で最高の結果を作って欲しいと願います。

・都市計画税についてどうして触れていないのですか？アンフェアだと思います。自分たちの主張の方向にもって行きたい設問だと感じました。市の言い分をきちんと伝えた方がいい。市の説明も十分だとは言えないが。

・80億円が妥当かどうかの議論でしたら、小規模の団地でも1億〜2億の経費がかかるので建設時の機能を維持するには止むを得ない費用だと思います。しかし建設当時に比べると住民の意識や構成も変わり、大中ホールや会議室を備えた建設当時の機能の必要性は再検討が必要だと思います。多摩センターの中心地である立地条件を考慮すると、階段を残して更地にするのは妥当ではなく、防災拠点、老人保育等の施設と市役所を含めた複合施設に模様替えすることを考えたらいかがでしょうか。

・多摩市が誇れる唯一の文化施設です。80億が第3者の精査で適切な積算であるなら減額して中途半端な改修とせず後世に残る設備とするべきです。

### 案Bのコメント

・箱物は金をかければかけるほど翌年以降維持費が膨らむ。人口14万人という市の身の丈に合った施設にしたい。いずれにしてもじっくり時間をかけてプランを見直したい。危険箇所等の緊急のある工事は早急にやる必要あるが、なぜ市は急いでやろうとするのか解せない。説明できない理由があるのだろうか？

・今後団塊世代を中核世代とする高齢者が徐々に減少することを考えると、身の丈にあった規模に縮小することがふさわしい。案Dとの折衷に

なるが、例えば単純な補修に40億円かかったとして、あと20億円程度を5年計画で文化振興Ⅱパルテノンで行う事Ⅱ実際に演じる人々にお金が回るよう、「文化への投資」をしたらどうか。仏作って魂入れず、にならないよう民間のコンサル、プランナー、プロデューサーを起用するなどして「中身の活性化」を目指していただきたい。

1. 改修費用は出来るだけ低くおさえる。

2. A案・景観とのコラボのようだが、パルテノン多摩の実質的な必要性でも多摩市民の暮らしに見合っていないければ閉古鳥が鳴くのみの。

3. D案・民間企業は利益がなければすぐ撤退。無責任でパルテノン多摩は任せられない。

4. C案・反対。

・年齢も高く実際の運動や活動参加は出来ませんが、とても関心があります。多くの市民の声を聞く。これを原点到多摩市全体の総合的なこれからを考えてほしい。

・「多摩市は高齢社会だ。今後の希望は全く無い」と市民も行政も無気力になっていないか！環境の良さ、子供たちに住み易い町を積極的に打ち出しそのための施策ロードマップをつくり若者の回帰を促すために、ある程度の投資は必要

である。

- ・多摩市単独で全額を持つのは無理です。他市と共同の財産として管理、運営を考えていくべきです。

- ・唐木田菖蒲館の使用計画変更を見ていると設備投資をもっと長期的な展望を持って行うべきと考える。

- ・自宅から歩いて音楽会へ行けるのがとてもうれしいです。企画力に期待します。

- ・多摩市は今後10〜20年の間に大型公共施設の建替・大規模修繕等が予定されているが、駅前(特に多摩センター)に集中するコンパクトシティ構想で再編する計画を導入する方針を見直すべき。

- ・永山や関戸は市民の集まりやすい場所がありますが多摩センターにはありません。また大ホールや小ホールはありますが小さなギャラリーがありません。市民の小団体が利用しやすい小ホールや小ギャラリーを是非作ってほしいと思います。

- ・様々な考えや意見があるはず。「専門家」なる方々の助言もあるでしょうが「市税」は市民のために使われるもので早急な結論の出し方をしないで検討して頂きたい。

- ・このアンケートはnegativeな考えを前提にしているような気がします。将来を見据えた考えも

必要な気がします。

- ・市役所・図書館・公民館・パルテノン多摩の機能を再編した複合施設。

- ・中学生の合唱や様々なイベントにパルテノンのホールは必要です。市庁舎をここに置くことで多摩センターとしての意義もあるのではないのでしょうか。

## 案Cのコメント

- ・将来に向けての都市計画税投入の政策優先順位を示してほしい。老朽化したインフラ保守整備に必要なのでは。今まで費用が多額で手が付けられなかったパルテノンに都市計画税を充てられるようなり、ここでやっつけてしまおうというのは、拙速です。税金の投入ですから、その配分について優先順位を議論する必要があります。文化・エンターテイメント施設の充実よりも、安全に暮らせる街の方が、徴税される方にとっても、土地家屋の利用価値の増大につながるのではないか。パルテノンに使う案しかないならば都市計画税を下げしてほしい。

- ・案Cのコメントを読んで全く同感！ 大きなものは都心へ。小さいものはコミセンで。

- ・多摩市内の歩道・遊歩道、全公園の整備、全街灯のLED化が先でしょう。全ての人が安全に楽しく歩けるように歩道、公園の整備が最優先

ではないですか。

- ・今後市の借入金が増大するものと思われる。これ以上後世に負の遺産を残してはいけない。

- ・パルテノンを改修し、50億も借金。維持管理に4億数千万円。ローン返済に5億円。利息が7000万。10年間毎年10億円の返済。人口減の時代に誰が責任をとる・・・

- ・少子高齢化時代は、見た目のよい街より住みやすく福祉の充実が達成できた自治体をめざすべきです。

- ・聖蹟桜ヶ丘(ヴィータ)、永山(ベルブ)と同様程度の公民館に建て替え「多摩センター周辺住民の中心施設」とするのが良いと考えます。演奏会に年1〜2回行ったが、上記で足りると考えます。

- ・地域の福祉館や図書館の存続の方がパルテノンより大切だと思います。市役所新築全額が発表されていない現在ではパルテノンの予算は付けられない。無くても済む箱物です。多摩ニュータウン30万都市の理解に見込み違いがあった。多摩市の人口は14万8千でありヴィータホール、ベルブホールで良しとしなければならぬ。

- ・今は建物に入った感じが暗くて気軽に入れる感じがしないので明るく落ち着いた雰囲気になるといいなと思います。

・子供たちのためになること、子育てに役立つことをお願いします。

・建物本体は、今のままでよい。日本はすぐこわれて作り替えることを考えるがウィーンのように長持ちさせましょう。リハーサル室のトイレが和式というのは考えられない。こうした点を直す。

・一般市民にとってほとんど利用する機会も価値もありません。どうしてもランドマークを残したいなら階段だけ残せば充分。後の世代にマイナスのレガシーを残してはなりません。

・今後予定されている市庁舎、中央図書館をも含めた総合ビルとし、その中に市民の憩いの場、活動の場、学習の場となるような施設（市民ホール）を含めて立て直すことを提案したい。今後これらを個別に建てるよりはるかに安価にできる。

## 案DSTメント

・子どもの頃から多摩市に住んでいます。学校行事以外で利用したことはありません。隣市の施設へはちよくちよく出かけますがパルテノンには魅力を感じないのです。もしも民営化で集客力あるイベントが行われるようになるのなら、納税者としても利用者としても喜ばしい限りです。さもなくばC案にみるように取り壊してもいいと思います。大階段から公園にいたる多摩

センターの景観は素晴らしいものですから。

・B案は机上の議論では存在するが、現に建物があるので、実際にありうるのか疑問。D案は運営費の節減効果があるが、改修費用までは賄えないので、結局はD案はA案とセットになる。

・そこでA案だが、中途半端な所があるため、予算にキャップをしないと、どんどん経費が膨らむ恐れがある。インフラの更新時期が近づいて、今の時期しか財源に余裕はないので、80億円を限度として、どういう大改修をするのか、市民的大議論をして決めていくべき。

・①パルテノン改修の陰に隠れたような②図書館本館の整備③市庁舎改修がある。その、基本計画策定委員会がそれぞれ設けられたが、多摩市財政を考えた場合、優先順位はあるいは複合施設となりうるか等等など、総合的な整理的審議機関が準備されないままである。

②ここで、潔く、順序だてた再出発を図り、既存委員会の実態（利用者懇談会のあれもこれも要求型）重複委員を排除し、市民の中に多数存在する、財政通の大型建設事業技術士などの活用により予算の削減に当たるべきではなかるうか。

・この案を選んでいく方が多いようですが、行政がPFI方式を選択しなかった時点でこの案はなくなっているのでは？私が勉強不足なだけなのかもしれません。また、民間でもホール・劇

場の閉館が多くてニュースになりましたよね。

・80億円問題には、1曖昧な目的 2施設運営の杜撰さ 3不透明な意思決定プロセスの3つの問題が混在しているように思えます。2の解決には民間の力を最大限活用する案Dが合理的かつ創造的だと思えます。が、そもそも1の「何のための施設なのか？」という大前提が曖昧なままでは、いかに運営を見直そうが根本的な問題解決にはなりません。大前提に立ち返り、施設の在り方の基本方針策定を市民参加型で行うのが望ましいと思います。その際、公共施設の統廃合問題の繰り返しにならないように、合意形成プロセス自体を見直すべきです。

・パルテノン建設と中央図書館建設計画には大きな問題があります。建築エンジニアとしても、約40年在住の市民として次世代に「過大な借金を残すのは許せません。（但し全額社会計画税なら別です。）

・ウオッチング多摩誌拝読しました。市民が政治をきちんと見て声を上げることは民主主義の要ですが貴誌のレイアウトや文字組では可読性が低いと感じました。記事内容も会合で誰がどんな発言をしたのか紹介に始終しています。さらに一步踏み込んで批判、批評すべき事柄に声を上げていくことが市民ジャーナリズムとして重要な事ではないでしょうか。生意気を申しまし

たが貴団体の益々の発展を願っています。

・財源があるからこの際、使ってしまったおう、という考え方は、道楽息子と同じ。血税ですぞ。肝に銘じてください！

・毎年5億の運営経費はあまりにも高すぎる(多摩市の規模を考えると)。子供の医療費負担を23区なみにするなど他に使う方が有効ではないだろうか？

・パルテノンには私にとっては多摩市のシンボリックの意味があり愛着があります。ぜひ残してほしいです。けれど利益をだす建物にすべき。活用できる建物に！

・格差社会の中、ハンディキャップを持たれている方々への政策を優先すべきと考える。

・4つの案の中ではD案が一番良いと思いますが、どちらにせよ改修が必要になると思います。どの程度の改修にするのかは市民の声を反映してほしいと思います。コンサルタントの建設会社の計画を反映しないでほしいです。

・多摩市のパルテノンがあつてこそその素晴らしい住環境は是非、維持継続してほしい。

・ただし運営は民営化することで多摩市の負担は小さくしてもらいたい。

・民営化すると利用者負担が増えるのではないか

と心配します。ただ維持にもお金が必要だし頭が痛いところだと思います。

・多摩センターという立地ではホールを活発に運営していくのは難しいと考えています。今までと同じにしていくことにこだわらないで低層階は公共施設(市役所)、上層階はマンション(都心ではこうしているのがありますね)とか、もっとオリジナルの案もできるのでは。

### 複数回答・無回答のコメント

・B案にして民営に任せる。

・大ホールや小ホールのコンサートは利用したことがありますが、成人式も行いました。遠くでコンサートに行けない環境の方もいるので存続してほしい。作業室などは習い事教室をもっと開催するべきだと思います。

・除却案には疑問。B案の考え方には同意。A案は査定をどうするかが問題。D案は結果として利用料にどう反映されるのかを重視していくことが大事。金額だけで判断できないことを考慮していくことが必要。

・多摩市の文化芸術振興の拠点維持の費用として妥当な金額水準と思います。尚費用支払い均等とコストダウンのためPFIを提案します。

・小ホールを残し大ホールを取り壊し中ホールに

建て変えし、その上にセレモニーホール、児童館、保育園、図書館本館等に利用する。そのようなことなら8億OK。

・アンケートの目的及び内容が渾然としていて趣旨が不可解。

・パルテノンに関しては今回耐震補強のみとして運営については別途検討すべき。

・年一回の利用は友人の市民コーラスを聴く時のみ。コンサート等は都内施設を利用しています。子供も成人式以降パルテノンを利用したことはありません。D案の事業者探しは難しいと思いますので、その場合は階段だけ残してとり潰すC案に賛成です。

## 入会申込書

氏名

住所

電話・FAX

メールアドレス

■会費・カンパ振込先■

みずほ銀行多摩センター支店 1197246

「多摩市議会ウオッチングの会」

■申し込み■

「ウオッチング多摩」の会 代表 神津幸夫

〒206-0034 多摩市鶴牧3-14-2-102 042-372-9496

HP: <http://watching-tama.com/>

★入会金は必要ありませんが、会報発行等の活動維持のために年会費2000円を頂いております。